

法学部(第1・2部)・地方〔文科系全学部(第1・2部)〕 1987 平野

〔I〕 平野に関連した次の(A), (B)の文の(1)~(15)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 世界の大規模な平野には、(1)や(2)の性質をもつものが多い。
(1)は、長期にわたる(3)作用の結果生じたもので、表面は緩やかに波うち、所々にモナドノックと呼ばれる高まりをもつ。(1)の例として、(4)を挙げることができる。
(2)は、(1)と同様、地殻が安定した地域に分布する。古い地質時代の地層がほぼ水平に重なっており、平坦面ないし緩やかに波うった地表面を呈する。極めて緩やかに傾斜する硬岩層と軟岩層とが交互に重なっている場合、(5)地形が認められる。その例として(6)を挙げることができる。
- (B) 日本の平野のほとんどは沖積平野であるが、これは河川の(7)作用によって形成されたものである。大きな沖積平野が形成されるためには、地盤が広い範囲で(8)していることが必要である。山地を離れた河川は山麓に粗大な礫を堆積して、(9)を形成する。この下流には現流路だけではなく、旧流路に沿って砂質の(10)が分布する。この(10)の背後に形成された泥質の浅い盆状の湿地は(11)という。河口に近づくと、泥質堆積物からなる低湿な(12)に移行する。このように、沖積平野はおおまかに三地帯に分けることができる。それぞれの地帯では河川の流路の平面形態に違いがあり、一般に、(9)上では(13), (10)および(11)帯では(14), (12)では(15)を呈する。

〔語 群〕

- | | | |
|---------|----------|--------------|
| (ア) 堆 積 | (イ) 卓状地 | (ウ) 構造平野 |
| (エ) 隆 起 | (カ) ケスタ | (ク) 自然堤防 |
| (キ) 分 流 | (ク) 網状流 | (ケ) バリ盆地 |
| (コ) 蛇 行 | (セ) 準平原 | (シ) バルト盾状地 |
| (ク) 侵 食 | (セ) 三角州 | (ソ) アフリカ卓状地 |
| (ケ) 沈 降 | (チ) 扇状地 | (ツ) バダノベネタ平野 |
| (コ) 地 塁 | (ト) 後背湿地 | |

2009 低地地形

〔I〕 低地の地形とその土地利用に関する次の文を読んで、問1～問3に答えなさい。

大地が大気にさらされると、地表およびその付近の岩石圏は熱や水によって、物理的・化学的変化を受ける。これを風化と呼ぶ。これと合わせて、流水、氷河、波浪、風などの力で^{はく}削剝されることを(1)という。流水の作用は、地形が険しい(2)や降水量が多い地域ほど著しい。この(1)による土砂が、運搬され堆積して形成された平野を(3)平野と呼ぶ。これは上流から下流に順に(4)、^{はんらん}氾濫原、(5)にわかれる。

このほかの平野としては、海水準変動や相対的な地盤の隆起によって海底が陸化した^a海岸平野がある。この平野は一般的に単調な海岸線となる。

(6)が最も発達するのは氾濫原で、そこでは河川は蛇行し、河道の一部が本流と切り離されると(7)が形成される。水はけの悪い(6)も、日本では水田に利用され、農業生産の中心をなしている。(6)や旧(7)で、湿性植物の遺体は完全には土壌とならずに(8)として残される。

問1 文中の(1)～(8)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

〔語 群〕

- (ア) 火口湖 (イ) 段丘 (ウ) 侵食 (エ) 扇状地 (オ) 湧水
(カ) 河跡湖(三日月湖) (キ) 三角州 (ク) 安定陸塊 (ケ) 砂堆
(コ) 泥炭 (サ) 自然堤防 (シ) 沖積 (ス) 後背湿地 (セ) 変動帯
(ソ) 構造

問2 文中の下線部 a に関して、代表的な地形の事例として不適当なもの一つを選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 宮崎平野 (イ) 九十九里平野
(ウ) アメリカ合衆国大西洋岸平野・メキシコ湾岸平野 (エ) メコンデルタ

問3 文中の(4)の地形の一般的な特色のうち、誤っているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- (ア) 等高線が同心円状となっている。
- (イ) 中央部が水の不足する地域となる。
- (ウ) 構成物質の多くは粘土とシルトである。
- (エ) 山に近い部分では土石流の災害の危険がある。

2010 2/6

〔I〕 世界の平野(平原)に関する次の(A)～(J)の各文に施した下線部②～④は三つとも正しいか、一つに誤りがある。三つとも正しい場合には①の記号をマークしなさい。また、一つに誤りがある場合には、その記号をマークしなさい。なお、次ページの図は世界の平野のおよその分布を示している。一連の平野であっても、国境をまたぐ場合は国境線を示す。

- (A) 世界の平野のうち広大な平野は、オーストラリア大陸、アフリカ大陸、南アメリカ大陸などに見られる。
② ③ ④
- (B) 北アメリカ大陸では、東は古期造山帯のカスケード山脈、西は新期造山帯のロッキー山脈の間に分布している。この平野の一部はプレーリーにあたる。
② ③ ④
- (C) ヨーロッパ大陸では、東を限る古期造山帯のウラル山脈と、黒海とカスピ海の間で南を限る新期造山帯のカフカス山脈などに区切られる。この大平野の主要部は東ヨーロッパ平原と称されるが、ほぼロシア卓状地にあたる。
② ③ ④
- (D) 南アメリカ大陸では、新期造山帯であるアンデス山脈に西を限られる大きな平野が二カ所見られる。一つはアマゾン川の流域に対応する東西方向のものと、パラグアイ川・パラナ川などの流域に対応する南北方向のものである。両平野をほぼ区分する高まりは、ギアナ楯状地である。
② ③ ④
- (E) オーストラリア大陸では、東を限る古期造山帯のグレートディヴァイディング山脈と、先カンブリア紀に激しい地殻変動などを受けたオーストラリア楯状地の間の中部・南部については、大鑽井盆地と称される平野が広がる。
② ③ ④
- (F) ウラル山脈の東側には、西シベリア低地が見られる。この更に東側にはほぼオビ川を境にして、中央シベリア高原を含むシベリア卓状地が位置している。
② 西シベリア低地からさらに南および南西には、トゥラン低地などが分布し、アルプス・ヒマラヤ造山帯の山々がこの平野を限っている。
③ ④
- (G) 図の縮尺からすると比較的小規模の帯状の平野が見られる。アラビア半島北縁には世界最高峰を持つ新期造山帯と並行してヒンドスタン平原がみられるが、これは旧アラビア亜大陸と旧ユーラシア大陸の衝突によって形成されたものである。
② ③ ④
- (H) カリブ海の東を限る大アンティル諸島から断続的ながら続く山地とギアナ高
② ③

地にはさまれた帯状の平野の東半分ではこの大陸有数のオリノコ川が流れる。
この河川は大アンティル諸島を構成するトリニダード島の南方に広大な三角州
を形成している。

- (I) 中国大陸をみると、この図では渤海と黄海に面した領域、つまり華北平原と
トンペイ(東北)平原が黒く塗られている。これらの地域を含めて世界有数の大
河である黄河や長江も、その基底のほとんどは安定陸塊で構成されている。
- (J) ジャワ島とカリマンタン島のカリマタ海峡側には、帯状の平野が分布してい
る。両島は異なる新期造山帯の活発な地殻変動の影響下にあり、両島の間、さ
らにはタイランド湾などにつづく大陸棚に堆積物を供給しており、2万年前な
どの氷期にはより広い平野が広がっていた。

